

育児休業取得状況等報告書

【企業担当者記載欄】

1 企業名	日進精機株式会社
2 貴社の取組状況について	<p>(1) 男性の育児休業促進に取り組むきっかけ・背景 働きやすい職場環境作りの一環として、育児・介護休業法の改正をきっかけに、女性だけではなく、男性の育児休業促進に取り組みました。</p> <p>(2) 男性の育児休業取得促進にかかるこれまでの取組 就業規則の改訂とともに、社内掲示板にて全社員への周知を行いました。</p> <p>(3) 取得促進にあたっての課題とその解決策、工夫した点 早めに所属長へ連絡をし、検討する時間に余裕が出るようにしました。</p> <p>(4) 取得者がいる職場の業務継続のために取り組んだこと 育児休業期間中は、部署内でサポートし合える体制作りをし、支障のない体制となるように準備しました。</p> <p>(5) 定着に向けて、更に取り組んでいることがあれば教えてください 今後の取得に対して理解と啓発を得られるよう昼礼で全従業員に公表しました。</p>

【対象従業員記載欄】

1 育休取得期間	通算 28 日間
2 育児休業の取得について	<p>(1) 育児休業を取得したきっかけ 国の制度として確立しており、取得する権利があった為。</p> <p>(2) 育児休業を取得して良かったこと 子供の成長を身近で感じることができて貴重な経験を積めた。</p> <p>(3) 育児休業の取得にあたり、円滑に業務を引き継ぐ上で工夫した点 誰か一人にウェイトがいくことが無いように、自分が所属する工場と他工場の自部署の人に仕事を事前に分配した。</p> <p>(4) 育児休業の取得経験を通して業務に生かしていること 人が 1 人少なくなるということなので、簡略化できる箇所の洗い出しをする絶好のタイミングであり、いい意味で手を抜く業務を見つけるいい機会だと思う。 (標準化する必要あり)</p> <p>(5) これから育児休業の取得を検討している方へのアドバイス 国の制度なので活用しない理由は無いと思う。子供の成長は早いので貴重な時間である為男性であってもなるべく子育てに参加する事でのちの後悔が無くなると思う。</p>